

市全体的な活動(第1層)

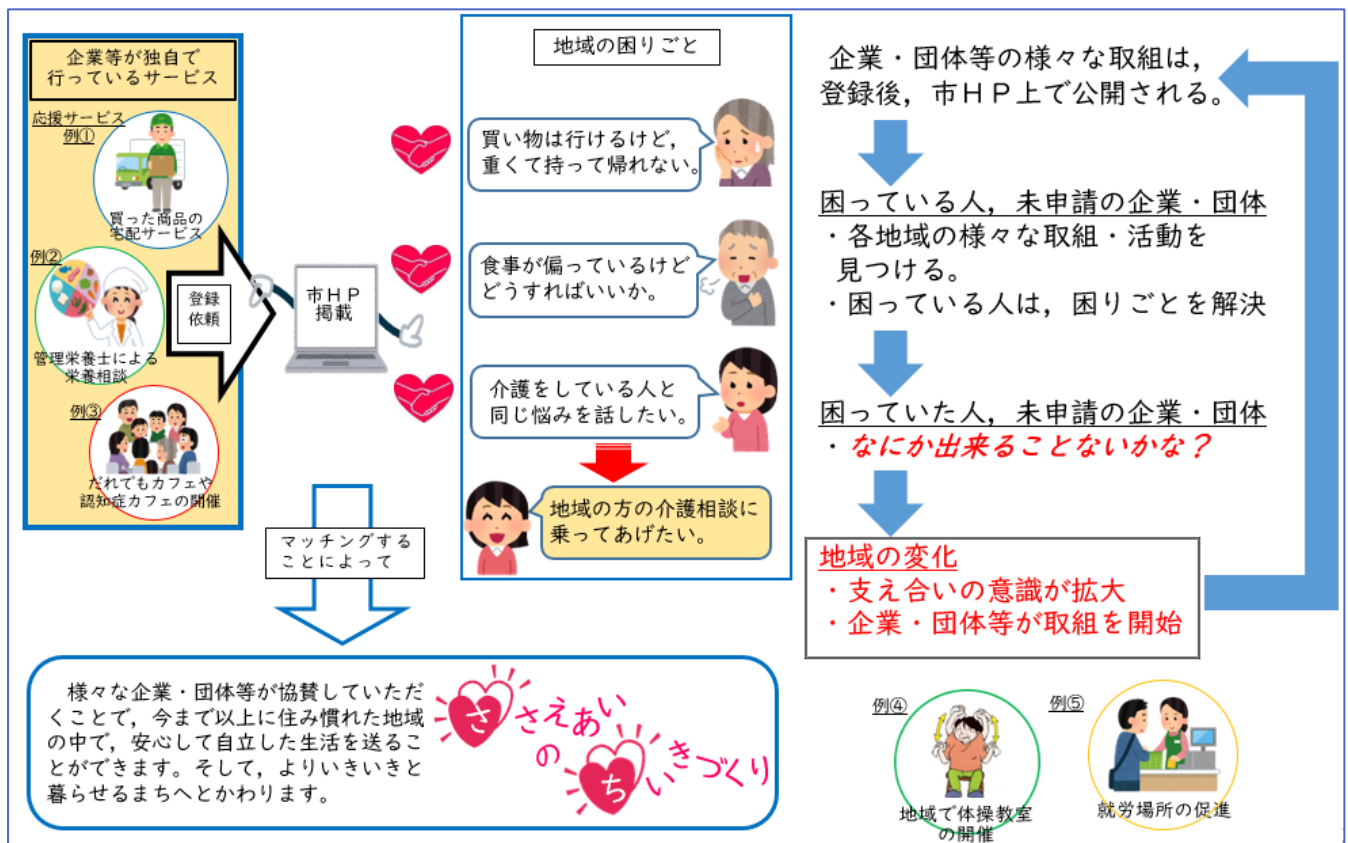
セカンドライフ応援キャンペーン



「セカンドライフ応援キャンペーン」は、高齢者が自立した生活を送ることができるよう、企業や地域団体等が行う独自の支援、サービス、地域活動等を集約し、公表するキャンペーンです。多様な取組等を集約し、見える化することで、その取組を必要とする人とのマッチングを支援することが出来ます。また、多様な取組等を行う企業等とのネットワークを構築することで、支え合いの地域づくりを推進します。

また、セカンドライフ応援キャンペーンのセカンドライフとは、辞書では「第2の人生」、「特に定年退職後の人生」となっていますが、本キャンペーンでは、高齢者に限らず、これまでの生活の中心であった仕事や家事、育児などに区切りがついたことで始まる新たなライフステージと定義しています。具体的には、「親の介護を始める」、「定年退職後に地域活動を始め」、「今までやったことのない趣味活動を始め」、「地域のボランティアを始め」などの新たなライフステージを応援するものです。

～セカンドライフ応援キャンペーンの流れ～



このキャンペーンを協賛する企業・団体の数は令和6年3月31日現在で、見守り活動が75団体、活動の場の提供が3団体、生活支援サービスの実施が13団体、活動場所の提供が6団体、介護予防活動支援が8団体、その他、スマホ講座や多世代交流の場などが6団体の合計111団体です(一覧はP37の【資料編】参照)。令和5年度は新たに3企業・団体に「見守り活動」で登録いただきました。

●協賛企業・団体との連携

【明治安田生命保険相互会社】「介護予防活動支援の実施」

・講座の提供・調布市シニアクラブ連合会で年3回実施している“みんなの健康教室”において、講座『良い睡眠のための睡眠環境』を実施。地域包括支援センター主催の地域ケア会議等で、講座「在宅避難のススメ!」「認知症予防の秘訣」「健康維持の秘訣」など計9回実施。

・健康測定機器の貸出し・地域包括支援センター、ゆうあい福祉公社、調布市高齢者支援室が主催・参加するイベントで健康測定機材を計25回活用。

(健康測定機器：血管年齢・ベジチェック・ヘモグロビン・骨密度・自律神経測定)

・大人の塗り絵・調布市枠を設け、【明治安田生命主催：第3回大人の塗り絵コンクール】を実施。89作品が集まり、9月12日(火)~9月29日(金)までの18日間、文化会館たづくり1階で展示、及びステキな作品への投票を実施。総投票数414票。上位5名には明治安田生命保険相互会社より、「サクラクレパス太巻き12色」を贈呈いただいた。



【第一生命保険株式会社】「介護予防活動支援の実施」「活動場所の提供」

・第一生命保険株式会社と国立長寿医療研究センターが協働し作製した「コグニ体操」DVDの提供。市が推奨している10の筋力トレーニングの自主グループにおいて、活用している。

・調布営業所3階の空いている時間の提供・調布市高齢者支援室の介護予防普及啓発事業「ステップアップ教室」卒業生の自主グループ“はつらつ筋陽会”の活動場所として第2・第4金曜日の午前中に活用。10の筋力トレーニング、提供いただいたDVDを活用したコグニ体操、講師を招いて体操を行っている。交通の便が良く、近隣の方だけでなく広く集えることから、今後も関係機関と連携しながら、市内高齢者の健康や交流の場として有効活用させていただきたい。

常設通いの場スタートアップ事業補助金

令和3年度から始まったこの補助金は、住民からの相談を受け、専門職につなぐことのできる相談体制を有する通いの場に対し、立ち上げや運営にかかる費用の一部を補助するものです。「常設」「スタートアップの2年間限定」に絞って、市、社会福祉協議会と協働が可能な人材・団体の発掘・育成を目指すところに特色があります。令和5年度は「ふふ富士見」と「みんなの部屋」に交付しました。次年度以降も、誰もがふらっと入れる居場所の創出を目指し、住民・企業・団体と相互連携して参ります。

つながり創出による高齢者の健康増進プロジェクト ～CDC（調布・デジタル・長寿）運動～

●CDC運動

調布スマートシティ協議会のメンバーである、国立大学法人電気通信大学、アフラック生命保険株式会社、調布市による「つながり創出による高齢者の健康増進事業～CDC（調布・デジタル・長寿）運動」は高齢者のデジタルデバイス(情報格差)の解消に取り組み、『健康寿命の延伸』と『主観的幸福度の向上』を目標としています。東京都の「子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業」を活用して実施している取組です。(令和3年度～令和5年度まで)

●百楽けんこう講座

貸出しするタブレット端末を使用して、自宅でプロのトレーナーによる軽い運動・栄養指導、デジタル機器の使い方指導、参加者同士の交流を実施。対象は65歳以上、全7回、147名が参加。今後も継続して体操をしたい自宅で復習したい等の要望に応え、「運動」と「栄養指導」の動画を作成しました。

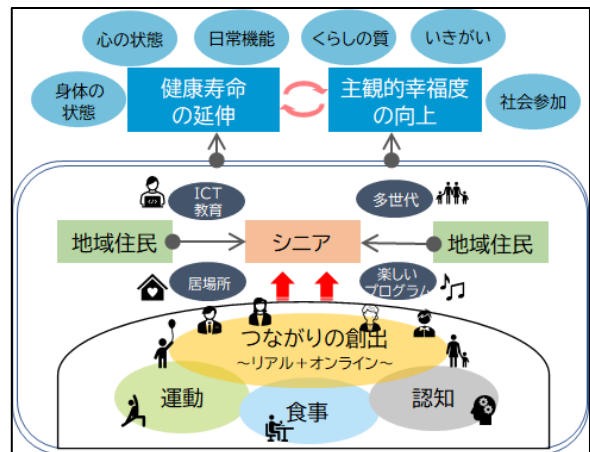
●デジタルリビングラボの運営

つながりを創出する地域の多世代交流の場、またデジタル機器への抵抗感をなくすため、楽しく健康状態を測定できる機器（体組成計、反応測定を行うスープリュームビジョン、ベジメータ、認知機能・ストレスチェック・転倒リスクの測定器等）を設置し、週3日運営。スマホミニ講座や個別相談、様々なイベントを通して、誰もが訪れやすく、人とのつながりが感じられる「通いの場」としての機能を担いました。


CDCの情報は調布スマートシティ協議会のホームページ内の特設ページでご確認いただけます。



<PCサイト>



調布市健康づくりプロジェクト STEP 1～STEP6 まであります。



<Youtube 調布市動画ライブラリー ChofuCity>

	深大寺リビングラボ	染地リビングラボ
開設期間	令和4年7月13日 ～令和6年2月28日	令和4年10月25日 ～令和6年2月27日
場所	深大寺東町 6-27-28	染地 3-1-435 デイカルガーデン 203
開業時間	水・金・日(※)午前10時～午後4時 ※日曜は不定期	火・金・土 午前10時～午後4時
総営業日数	225 営業日	205 営業日
総来訪者数	2,105 名 (1日平均 9.4 名)	1,272 名 (1日平均 6.2 名)

CDC 運動は終了しましたが、深大寺リビングラボ跡地で、特定非営利活動法人ソーシャルバリュー協奏バンク（国立大学法人電気通信大学認定メンバー）が、食べて測って集って地域の健康増進拠点「深“（JIN）」を令和6年4月19日開設。

